

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 株式会社リアン 放課後等デイサービスリアン府中美好町

公表日 2024年12月25日

		チェック項目	評価			工夫している点	課題や改善すべき点
			はい	いいえ	無記入		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	2		利用定員とスペースについては、適切である。	集団でのフロアと個室の個別支援の活用等、有意義に使用できるように検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	7		利用児童に対しての職員配置は、基準を超えています。予定していた職員が来れなくなった時は、同じ社内の他事業所に依頼し対応している。	各業務を見直し、利用者児童の障害により職員の配置を考慮する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		すべて同じフロアにあり、集団の部屋と個室は分かれており、わかりやすい。一部段差があるが、機能訓練の一つととらえている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			毎日清掃、椅子や床、テーブル等を除菌をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10			個別活動や、静かに過ごしたい時は、個室に過ごすことができる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	5		全員に周知できるように、非常勤の方には、可能な時間を利用して情報伝達に努めている。	参画や周知のために、より書面での徹底を図り、確実に伝えられるようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	1	保護者のデイサービス評価表の集計は、ホームページに公開している。それを改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	3		そのつど、業務の改善の話し合いを行っている。	常勤非常勤とも、業務についての意見交換ができる機会を持ち、その改善を周知して実施できるようにする。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	1	検討中です。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	4		基本的な決められた研修は行っている。	支援の基礎研修や、外部で受けた研修を、内部でも行えるように、その機会を増やしていきたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	2	1		常勤を中心に行っているが、非常勤にも徹底できるように、公表体制を作る。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	3	1	児童と保護者のご意見を取り入れながら課題を分析、STと連携を考慮にいれて計画を作成している。	アセスメントや分析等には、非常勤にも参加出来る様に機会を作る。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	4		常勤の支援員の意見を聞いて作成している。	非常勤にも方にも参加、意見を集約できるように体制を作る。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	5		常勤が主に、非常勤一部での共有できているが、全員には徹底できていない。	非常勤にも含めて、全員に共有し、支援にできるように、またその経過も記録できる体制作りを進めている。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	4	1	アセスメントには標準化されたツールをフォーマルインフォーマルを考慮して作成している。	アセスメントには、フォーマルやインフォーマルの把握を、常勤・非常勤全員、情報共有を行う。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		1	今年度から加わった、家族支援、移行支援、地域支援を加えた計画を作成している。	ガイドラインに沿って計画作成をしていることを周知する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	1	主に常勤職員を中心に、行っている。	プログラム作成に、可能な限り非常勤も参加出来る様な体制を作る。
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	1		楽しんでいる、また新しいプログラムを提供できるようにしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	1	子ども障害の特性により、身辺の自立やSTの個別活動や、集団に慣れ、仲間との関わりにより身につけられ学べる活動を計画に立て、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1		支援の始まる前に、その日の職員全員とのミーティングを行い、役割分担の打ち合わせや情報交換を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	4		職員の勤務時間の制約があり、終了後送迎後に職員とその日の情報交換、振り返りを行っている。	職員の勤務時間を配慮しながら、情報共有を行えるように体制を作る。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		ハグシステムにその日の児童の様子を記録する。特別な事があつた時にはその報告と検証・改善を周知している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	2		6ヶ月に1度の計画の更新時には、モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	3		4つの基本活動について、そのような支援を行っている。(明確にその文言を、職員に周知していない)	職員全員に「4つの基本活動」についてをの支援を明確にし周知する。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	2		おやつや玩具等、自分での意思や気持ちを表現できるように、支援員が付き添い表現できるように支援をしている。	児童一人ひとりの相応しい表現を、STと連携して、言語・手話・ジェスチャーなどを身につけられるように支援体制を
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	1	関係機関連携会議には、児発管等常に支援をしている者が出席している。	
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	4		常に関係機関と連携できるように体制は整えています。	
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7	2	1	学校とは情報共有等常に速やかに行えるようにしている。	事前に情報共有が、全員にできるように体制を作る。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	1	必要に応じて、連携に努めています。	必要に応じて、情報共有を行えるような体制は整えているが、今後より就学前の通所先より情報共有を図る。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	1	求めに応じて行います、必要に応じて支援相談員とは連携をしています。	必要求めに応じて、情報提供できる体制を整えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	5	1	現在、研修の案内もなく、機会は設けていない。	今後、地域の児童発達支援センターと連携を取り、助言や研修等を依頼していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	1	現在交流の機会はありません。	保護者のご意見を伺いながら、今後地域交流の一環として進めていきたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	1	現在その機会がなく、参加していません。	要望依頼がある時は参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	1		送迎時や連絡帳、電話、ハグシステムで情報交換を行って共通認識をもてるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	1	他で行われている研修等の情報提供している。	今後、ご家族のご意見を伺いながら、機会を提供したい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	2	1	契約時には、必ず行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	1	契約時や事前に電話でご意向を伺い、個別支援計画案を説明する時確認している。(ご本人は保護者が代弁)	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		1	定期的に、基本的には必ず、個別支援計画案の面談を行い、ご意見を伺い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	2		状況を伺いながら、ご家族の支援ができるように支援に努めている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	6	1	現在保護者会などの集まる機会を実施していない。	今後、保護者のご意見を伺いながら、可能な限り保護者の交流会や兄弟会なども企画、支援できるような機会を提供したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		ご意見や苦情などについては、迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	1		定期的に毎月の活動予定を発行、ハグシステムにより、様々な情報提供・交換が出来る様にしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	1		個人情報の守秘義務については、厳重に注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			連絡帳や電話などの連絡、他にハグシステムでいつでも保護者より情報発信できるようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	1	現在、行っていないが、地域のまつりに出かけていくことは行っている。	地域交流については、保護者の皆様の意見を反映しながら、検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		各種マニュアルの整備している。	マニュアルについての家族への周知は、面談時に行うようにする。各種訓練も計画的に実施していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			今年度より、BCP計画の周知研修・訓練等を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	1		服薬については、連絡をもらう事が多い。面談時に確認をしている。てんかん発作時には保護者に対応等の連携をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		軽い食物アレルギーのある児童については、日頃確認周知。強い反応の児童は保護者より指示書はもらっている。	アレルギーの反応の強い児童には、保護者を通して医師に指示書をもらい、それに基づき支援をする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		今年度安全計画は作成している。	職員全員に安全計画を周知し、研修や訓練を実施する。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	1	日頃、児童の安全を優先して、支援を行っている。	安全計画については、面談時に説明を行って行く。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2		ヒヤリハットは、目につく所に掲示、気軽に書けるようにして、ミーティングで共有している。	職員全員に周知できるようにする。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			定期的に研修や職員の自己チェックは年1回実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	1		身体拘束については、保護者の承諾の上で、計画に記載し、経過を記録している。その後委員会の中で検討している。		